

長野市議会の議員定数の適正化に
向けた調査研究に関わる要望書

長野市住民自治連絡協議会

長野市議会の議員定数の適正化に向けた調査研究に関わる要望について

盛夏の候、貴会におかれましては愈々ご健勝のことと拝察申し上げます。

平素から、長野市の発展にご尽力をいただき、心より敬意と感謝を申し上げます。

私どもも、微力ながらそれぞれの地区において、住民の皆様のご日常生活における安心や安全の向上に向けた活動に日々勤しんでおるところであります。

さて、先の長野市議会六月定例会において、「長野市議会議員定数削減について検討することを求める請願」が提出され、慎重審議の結果不採択となったことは聞き及んでおりますが、先般会長宛に当協議会関係者から匿名の条件を付しての提言がありました。

その要旨は、少子高齢や今後の人口減少社会への突入、当市をはじめ地方都市の経済状況が芳しくないこと、更に中核市等他都市との比較による数値的根拠を提示した上で、長野市議会議員の定数削減を提案するよう要望すべきではないかとの内容でありました。

勿論、近年の急速な社会情勢の変化を背景に、議会及び議員が果たすべき役割は、地方公共団体の事務が一層高度化・多機能化する中でその責務の重要性は益々大きくなっていくことは申すまでもありません。

しかしながら、このような重要性が謳われる一方で、議員定数のあり方に関しては、昨今の当市を取り巻く経済情勢の変動や将来の広域的な人口動態の変化などを考慮する時、当協議会として今回の提言を

全く蔑ろにすることも不誠実であると判断すると共に、長野市議会としてこの点に関して確固たる理論を持って対処いただくことは是非も無いとの考えに至った次第であります。

つきましては、議員定数のあり方に関わる現状や将来について、市民からの疑問の払拭及び説明責任を遂げるといふ観点から、可及的速やかに引き続き調査研究を進め、早急にその経過や結果について公表をいただきますよう要望いたします。

平成二十九年七月二十日

長野市議会

議長 小林 義直 様

長野市住民自治連絡協議会

会 長 小林 勲